

## ひので映画大使最新版

[2016年1月26日]

### 第67回映画大使「パディントン」

- ・ 期日 平成28年1月7日(木曜日) ※試写会にて開催
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

#### 作品紹介

イギリスの作家マイケル・ポンドによる児童小説『くまのパディントン』をもとに実写映画化したファミリー・コメディ。原作は、1958年に第1作が出版されて以降、世界40カ国以上で翻訳され、3500万部以上を売り上げる。

パディントンの声を担当したのは『007 スカイフォール』などの出演で知られるベン・ウィショー。ブラウン一家の父をヒュー・ボネヴィル、母をサリー・ホーキンス、パディントンをつけ狙う謎の美女・ミリセントをニコール・キッドマンが演じる。その他、サリー・ホーキンス、ジム・ブロードベントがキャストに名を連ね、脇を固める。製作は、『ハリー・ポッター』シリーズを手掛けたデヴィッド・ハイマンが担当し、監督は英国のTVコメディを中心に活躍するポール・キングが担当している。

日本語吹き替え版声優には、パディントン役を、多くの映画・ドラマで活躍する松坂桃李、ニコール・キッドマン演じる謎の美女・ミリセント役を木村佳乃、ブラウン家の父・ヘンリー役を古田新太、母・メリー役を斉藤由貴、中学生の娘・ジュディ役を三戸なつめというバラエティーに富んだキャストが、名を連ねている。



(C) 2014 STUDIOCANAL S.A. TF1  
FILMS PRODUCTION S.A.S  
Paddington Bear TM, Paddington TM  
AND PB TM are trademarks of  
Paddington and Company Limited

### 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

#### 映画大使の「第一声！」

- ☆ とても素晴らしい作品ですね！
- ☆ 「パディントン」が可愛かったですね！
- ☆ 気持ちよく観終わったなと思える映画でした！
- ☆ 感じるままに楽しく観られた良い作品でしたね！
- ☆ 感動しました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

#### 映画大使の「映画のツボ！」

---

##### Aさん

こんなに楽しくて、ホットで笑いがあって涙があるという、このような平和な作品は、いつ観ても、何歳になっても観てもいいなと思いましたね。

感動しました。特に「パディントン」の顔や目・表情がとても愛くるしい事に感動しました。どうしてこういう表情が出せるのかなと思いましたね。

とても嬉しいひと時でした。

##### Bさん

「パディントン」の表情が豊かなのにびっくりしました。

ブラウンさん家族を観ていてホッコリとしましたね。

悪い人への刑罰でさえもユーモアのある刑罰になっているので、家族みんなで観てほしい映画だと思いましたね。

##### Cさん

予備知識無しで観ましたが、良い映画でした。

この映画を観て感じた事は、みんな大切な誰かのために変われるのだなと思いましたね。

##### Dさん

ここ数回の映画大使で観た作品の中で一番良かったですね。

一見子ども向けの物語ですが、大人が観ても十分楽しめる・感動できる内容だと思いますね。

この作品の「パディントン」の周りの登場人物は、私は全て善人であって、話を丸く収めた作品だと思っています。

お子様もいたのですが、おとなしく観ていて、盛り上がるシーンでは良い反応をされていて良かったです。

##### Eさん

とても楽しませていただきました。隣にいたお子様と一緒に笑っていました。

驚きがあり、笑いがあり、涙があるなど、バラエティーに富んだ内容でしたね。

「パディントン」のぬいぐるみが映画館の入口に置いてあったのですが、売っているのであれば買いたいくらい可愛いと思いました。顔の表情がすごく可愛いですね。

##### Fさん

私も「パディントン」の事はよく知らなかったのですが、インターネットで調べたところ、イギリス・ロンドンのパディントン駅に「パディントン」の銅像が、原作である児童小説発売後に出来たと書いてあり、原作の本も有名であるようで、読んでみたいなと思いました。

最初は、子ども向けなのかなと思いながら観ていたのですが、家族愛を教えてもらい、「パディントン」がとても正直で、まっすぐに生きている姿から教えられた事もありましたね。ストーリーも非常にわかりやすかったです。

最近笑える映画を観ていなかったのでも、映画館で笑えるのはいいなと思いましたね。

つつい映画を観ていますと他の映画に似ているシーンがあるなと考えてしまうのですが、この映画にもあるなと思いながら観ていました。

気持ちよく観終わったなと思える映画でした。

##### Gさん

すごく楽しい映画でした。どの映像を観てもすごく楽しくて、どこを伝えていいのかというくらいでしたね。

泣いたり、笑ったり、気持ちが暗くなったりと、自分が感じた事が周りの人も同じように感じさせることが出来て、映画と場内が一体化する、みんなで同じ気持ちになって楽しめる映画だと思いました。

マーマレードが所々に出てきてマーマレードに始まってマーマレードに終わるような感じで、とてもジューシーで美味しそうだったので、私も食べたくなりました。

家政婦役のバードさんがブラウンさんに言った台詞が印象的で、心のつながりを知るという感じで、本当に温かく楽しい映画だと思いましたね。

感じるままに楽しく観られた良い作品でした。

---

#### Hさん

楽しくて、可愛くて、笑顔になれる映画でした。人間の顔には、いろいろな事が出ると言われているので、笑顔になれる映画はいいなと思いましたね。

---

#### Iさん

観終わってすぐほのぼのとしたものが心に残って、すごく幸せだと思いました。「パディントン」が周りを幸せにしてくれるのだと感じましたね。「パディントン」と一緒に暮らす人は迷惑をかけられますが、迷惑をかけられる事も帳消しになるくらい「パディントン」がいてよかったな、というようになっていました。

原作は1950年代のロンドンを舞台にした物語なのですが、それを上手に現代のロンドンを舞台にした物語に作っているなと思いましたね。

ブラウン婦人の何でも受け入れるやさしさは、みんなが持っているものでは無いと思います。あれだけの人間の大きさになればいいなと思いましたね。

温かい人間関係が描かれている作品だなと思いました。

---

#### 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

・もっと長く観ていたいと思いましたね。あっという間に終わった感じでした。

・原作から比べてかなり話を膨らませて作っていますが、その内容がうまく出来ているので、監督やプロデューサーに力があるのかなと思いましたね。

・日本語吹替えの声優さんも、エンドロールを観るまで知らなかったのですが、名前を観てびっくりしましたね。それぞれの役によく合っていました。特に「パディントン」の松坂桃李さんは良かったですね。

・次回作(続編)も出来そうな感じですね。

---

#### まとめ

小さなお子様から大人の方まで一緒に笑い、驚きの声をあげ、感動するという、他のお客様との一体感を感じる事ができる作品でした。正に映画館で観るべき作品といえると思います。

そして、内容も素晴らしいですが、美術やセットをはじめ、細かい設定などもこだわり、作り込まれた作品でした。

映画大使の方は年代や性別が違う方達で実施していますが、注目した点や特に興味を持った点などは違いますが、全ての大使の方が良い作品であると感じられていました。

日本では2016年1月公開となっていますが、2014年の作品であり、英国アカデミー賞で英国作品賞と脚色賞にノミネートを果たし、全世界で興行収入3000億円を超えたスーパーヒット作となっている事がうなずけます。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

#### 関連ページ

- [これまでのひので映画大使](#)
- [ひので映画大使のトップに戻る](#)

### お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係  
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

---

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#)   [新着情報](#)

---

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.